

きのこ・ながさき



(トキイロヒラタケ)

21

令和3年3月
長崎きのこ会

会長挨拶

長崎きのこ会 会長 山川 続

今年も月1回のペースで定例観察会を計画しましたが、新型コロナで1回、台風接近で1回中止しました。県外でのきのこ観察を例年より控えたり、佐賀きのこ会と合同で開催する予定だった西日本きのこ交流会を延期したりと、新型コロナに振り回された1年でした。しかし、観察会数は減りましたが、新たなきのこの出会いだけでなく、参加者との交流を楽しめた1年になりました。

定例観察会で観察した代表的なきのことして、ムラサキゴムタケ近縁種(3月、長崎県民の森)、オオセミタケ(中止と知らないで来た人たちで実施、4月、長崎県民の森)、オニフウセンタケ(5月、長崎県民の森)、タテガタツノマタタケ(6月、長崎県民の森)、ガーネットオチバタケ近縁種(7月、大村市“狸ノ尾ため池水源の森”)、アケボノオシロイタケ(8月、雲仙市白雲ノ池)、ササクレシロオニタケ群落(9月、長崎県民の森)、ルリハツタケ(10月、長崎県民の森)、ツチスギタケ近縁種(ドロンコツチスギタケ(仮称)?) (11月、長崎県民の森)などがあり、ガーネットオチバタケ近縁種を初めて観察しました。ガーネットオチバタケには発光するタイプがあることを後で知り、確認できなかったことが悔やまれました。

定例観察会以外では、トキイロヒラタケ大群落、オオキヒダサカズキタケ(池田仮称)近縁種?、ハイチャヒダサカズキタケ?、サザナミイグチ近縁種?(またはオオアワタケ(仮称)?)などを観察し、感動したり、名前がわからず困ったりしました。また、佐賀県でアリノタイマツ、ミミズタケ?を初めて観察し、6本ぐらいのウスキキヌガサタケが同時にレースを開いているのも観て感動しました。長崎県内でも観察できないか、今後が楽しみです。

観察会は日曜に実施するので、平日のきのこ情報や継続的な観察報告が会員から得られたことはとても有難かったです。今後、他の場所での継続観察が増えれば、県内のきのこ情報がさらに充実していくと思われまます。

本会はきのこを探し、写真を撮り、時には食べて楽しむだけでなく、きのこを通して自然とふれ合い、仲間との交流を深めることに重きを置いています。そして、地域社会へ貢献することを願っています。

この冊子は令和2年の長崎きのこ会の活動を中心にまとめました。皆様のお役に立つことができれば幸いです。

目 次

令和2年 長崎きのこ会活動結果

定例観察会(第1~10回) 2

【会員の広場】

2020年に出会ったきのこたち 山川 続 29

長崎のきのこ写真展

長崎ブリックホール 33

長崎県民の森 森林館展示ホール

令和3年 きのこ観察計画 34

友好きのこ会の会報・機関誌等 35

長崎きのこ会役員 36

きのこの賑わい
